

広報

あいかわ

'89/ 2 No.369号

平成元年2月1日 秋田県合川町

編集 総務課 ☎0186 (78) 2100



晴れやかに 二十歳の誓い

百二十九人が新成人に

今年の新成人対象者は百二十九人。このうち百八人が新春の成人式に参加しました。

町民歌の斉唱に続いて、一人ひとりの成人者を呼名。緊張ぎみに起立する新成人の皆さんに、報道関係者の明るいライトが光っていました。

代表して佐藤園子さん（川井）に成人証書を贈呈。記念品として「ふるさと讃歌」のカセットテープが贈られました。

畠山町長が「二十一世紀のとびらを開く皆さんが、人のために尽くす人間になってほしい」と激励のあいさつ。中学校時代の恩師を代表して関ハツエさん（上杉）が「国際化社会の中で、人間として誰をも尊敬する心を持って、未来を築いてください」とお祝いの言葉を贈りました。

写真＝右＝恩師を囲んで輝く未来をにこやかに
新成人の記念作文には三浦真紀子さん（駅前）と疋田小織さん（上杉）が入選。「毎日

の学校生活を将来にむけ充実させたい」（三浦さん）

「胸に秘めている大きな大きな夢に向って」（疋田さん）との作文を朗読。大きな拍手に包まれていました。

閉式後には「ふるさとに生きる」と題する記念講演と交流の集い。夢はずむ会話に、笑顔が集まっていました。

総合福祉施設「大野台の里」

平成元年 仲間の祝福の中で 大野台の里成人式



の成人式は、十一日、昨年新築された愛生園体育館で行われました。

今年は五人の入園生が新成人。仲間の園生と職員らが参加して、晴れやかなお祝いの式典が行われました。

町民歌と大野台の里賛歌を合唱して、町長と木村士郎施設管理者から成人証書と記念品を贈呈。「平成元年の新しいスタート。自分のこと、仲間のこと、父母のことを考えてがんばってください」と、お祝いのことが続きました。

新成人を代表して深沢智之さん（厚生園）が「成人としてはずかしくないようがんばります」と、元気に誓いのことば。晴れ着姿の新成人の、うれしさと緊張の表情に、大きな拍手が贈られていました。

五人の園生の
新成人を
みんなでお
祝い。

第10回合川町の教育を語る会

"ふれ合い"の輪を広げよう

—子どもたちのため何をすべきか—

第十回合川町の教育を語る会は、一月十五日町農村環境改善センターで開かれました。

教育を語る会は、町内学校・保育園の関係者や団体・機関の代表など百人を超える参加者が集いました。会に参加者が『今年、実践すること』を発表し合う形で進行。「ひとり一人の実践から、輪を広げよう」（―沢藤東・町連合PTA会長）と、熱意あふれる話し合いが行われました。提言された「今年の実践」からまとめてみました。

おうち・返事をしつかりと

※「ありがとう」「はい」

大人も子どもも、同じ立場で声をかけ合おう。子どもは、尊敬の心を持ってあいさつができるように育ってほしい。「わかるけれど、できない」ではなく、「わかってできる」を目ざして、あいさつ運動をすすめよう。

親子ふれ合い話し合いを

※親子会活動、公民館活動などへの親子参加をふやそう。
※基本は親子のスキンシップ。読書、ラジオ体操など親子で



体験学習は喜びと感動がいっぱい。(南小感謝祭で)

ふれ合い農園

※ふれ合い農園を忍耐強く続けよう。

※生産活動・家事など、子どもたちの手伝いをふやそう。なわなない、ぞうり造りを体験させよう。

地域との交流を深めよう

※中学生・高校生が部落活動に参加できる機会を作ろう。
※老人との交流を行おう。ゲートボール交流の提案がありました。

奉仕・美化活動をすすめる

※ゴミをちらかさない心を育てよう。美化活動に参加しよう。

※ボランティア活動をすすめよう。中学生の除雪奉仕は、たいへん喜ばれています。

「教育を語る会」で出された実践目標から、あなたの家庭での「今年目標」をたててみてはいかがでしょう。

自然の中ののびのびと

※自然とふれ合い、どろんこになって自由に遊ばせたい。
※ふるさとを学び、大切にすることを育てよう。白津山に登る機会をつくろう。
※子どもたちに手をかけず、完全なものを求めないで、のびのびと育ってほしい。



身近な問題や町づくりに

参加していますーわたしも

第28回合川町婦人問題研究集会

合川町婦人問題研究集会は数えて第二十八回。学び合いと行政への参加を実践する継続した活動が賞讃されています。主婦ならではの家庭の問題や町の未来への提言など、幅広い話し合いが行われました。

研究集会は「地域づくり」

「子育て」「くらし」の三分科会で開催。各分科会で、行政機関の助言などを受けながら、全体会でまとめを行いました。参加者の意見から、拾ってみました。

地域づくりのために

“温泉のある町”に 高い関心

▽温泉を活用した町づくりをすすめよう

老人憩の家と結びつけて活用を。若者にも魅力ある施設を考えてほしい。

▽町の特産品づくりをがんばろう

あわ餅、比内鶏、スイートコーンの特産化をめざそう。町内産の野菜、果実は



健やかに子どもを育てるために

基本は家庭から

▽子どもたちに勤労体験をー自然とのふれ合いや、いっしょに汗を流す体験を与えよう。

▽家族のふれ合いをふやそう
お年寄りや子どものふれ合いを各家庭で考えよう。

子育てに父親にも目を向けてほしい。特に中学生には心を開ける家庭が必要。

▽お金（一円）を大切にすることを育てよう

▽若者の交流をふやそう
野外パーティなど、結婚の呼び水となる交流をー。

お年玉のあげ方を考えよう。労働と結びついたお金の大切さを理解させたい。

▽あいさつで心のふれ合いをふやそう
大人のほうからも、声をかけよう。

▽子どもにも目標と忍耐を育てよう

写真：町長らを交じえて、婦人の声を活発に

“わたしの ふるさと”に 88件応募

～合川町十景でまとめ～

町では昨年八月から十一月まで「ふるさと十景」を募集しましたところ、八十八件の応募がありました。十景には公園、寺社、史跡行事、料理などが幅広く寄せられました。

内容は次のとおりです。
▽大野台ハイランド (12)
▽鎌沢大仏 (10) ▽羽根山
沢・白津山 (9) ▽三木田
鯉 (6) ▽まとい火 (6) ▽
木戸石・樹温寺 (5) ▽木
戸石神社けやき (4) ▽上
杉神社 (4) ▽福田獅子舞
(4)が上位。それぞれに、ス
ポーツ・レジャー施設、散
策道整備などが提言されて
います。

「増沢・多々羅坂からの眺め」「羽根山沢滝の下」など、それぞれふるさと自慢や、「北欧風教会」「噴水公園」など未来への「夢」も多く、産業と結びつけた提案が目立っています。

町では、関係会議などに応募された「十景」を配布し、基礎資料として活用することにしています。

ご協力ありがとうございました。

くらしを良くするためにー
まごころで
福祉の町に

▽くらしの合理化をすすめよう

葬式の祭だんの共同利用を考えよう。手伝人への折箱など、「見え」を張らずに見直そう。冠婚葬祭のもらい物は不用品が多く、交換

などを考えよう。
▽行き届いた「福祉の町」をめざそう

自分たちの手で、できる限りのことをしよう。役場窓口・民生委員などにも気軽に相談したい。

▽悪徳商法に気をつけよう
いろいろな機会に注意を呼びかけよう。

無火災を 決意新たに

消防出初式

一月五日、町消防出初式が行われました。

新春を飾って、整然とした行進を駅前地区で披露。ポンプ車、ポンプ積載車など充実した機動力が後に続きました。今年も、「一基のまとい」が調整されて団員を先導。見守る人々とともに、無火災への誓いを新たにしました。

会場を農村環境改善センターに移して、優良団員を表彰。火災予防協力団体として増沢



無火災への強い決意で、はつらつとした行進

子ども会、李岱部落、駅前子ども会、羽根山親子会が表彰されました。

中学生のボランティア

全町で雪よせ活動

お年寄り世帯などで

合川中学校生徒会では、この冬から、全校ボランティア活動として、地域の除排雪への協力を取り上げました。「福祉の町—合川で私たちのできることは？」を考え合う中で奉仕活動を申し合わせ。

今年も暖冬で、今のところ出番は少ないものの「十二月中旬に、ほぼ八割方の生徒が活動



地域の仲間が呼びかけ合つての奉仕活動(西根田で)

に参加した」とのことで、たいへん喜ばれています。

西根田部落では老人世帯と生活センター前で雪かたづけを実施。「総会前に、センターのまわりがきれいになっており喜ばれた」(金田正一郎さん)とのこと。

中学生に協力をお願いしたい方は各部落の民生委員の方を通じてご相談ください。

健康大学

年々ふえる参加者

老化・ガン予防を学習

平成元年の初めての健康大学は、一月十九日に開かれました。健康大学は、回を重ねるにつれて参加者が増加。百人を超える今までに最高の参加者になり、高い関心が示されました。

今回は『老化を防ぐ食生活』と『大腸ガンの予防』について学習。▽規則正しい食事と休養と運動(労働)が大切▽肉食の増加にしたがつて、大腸ガンが増加している。などの身近な健康づくりへのアドバイスに真剣に聴き入っていました。

加入ください

～交通災害共済・不慮の災害共済～

2月1日から平成元年度令の市町村交通災害共済、不慮の災害共済の受け付けが行われます。

掛金は交通災害共済 400円、不慮の災害共済 300円。共済期間は4月1日から翌年の3月31日までの1年間です。ただし、途中加入の人は、加入翌日から3月31日までです。

災害に合われた場合の共済金のほか、奨学援護制度があります。交通災害と不慮の災害では、補償対象などが違いますので、各家庭に配布されるチラシなど参考にしてください。

加入内容の問い合わせは、役場総務課窓口、役場職員、婦人会各支部長にお願いします。

続 発 !!

飲酒運転検挙すでに3件

町内では、1月前半に3人が飲酒運転で検挙されています。3人は、いずれも飲食店などで酒を飲んで、そのまま運転。1人は自損事故後、検挙されたものです。

飲酒運転は、重大事故と直結し、任意保険などの対象にならない場合など「加害者、被害者とも悲劇的な事故が多い(—森吉警察署合川駐在所)とのことで、徹底した指導が話し合われています。

町内では昨年13件の人身事故が発生。統計外を含めて3人の死者が出ており、「今年は『事故ゼロ』にむけての再スタート」と呼びかけが行われています。

各家庭、団体などでも、改めて交通安全の徹底をお願いします。

まごころが伝わる 介護技術を ～町社福協で講習会～



一月二十二日、町保健センターで「介護人講習会」が開かれました。この講習会は「寝たきり老人」の介護の心がけと技術を習得しようとの呼びかけで開講。現在、老人を世
模テルの人を動かしてみても老人の気持ちを実感。

想が聞かれました。

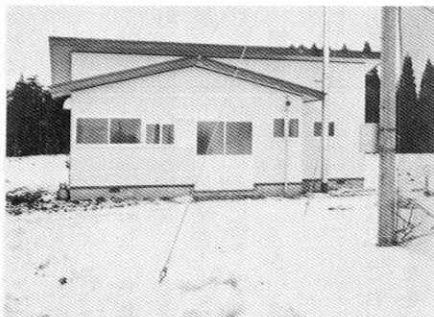
松ヶ丘グラウンドに 活動施設が竣工

（財）自治総合センター補助で

松ヶ丘の町多目的グラウンドに、体育レクリエーション活動施設が竣工しました。

町の分譲宅地・松ヶ丘には住宅などの建築が進み、一昨年、多目的グラウンドが竣工しています。

体育レクリエーション施設は、財団法人自治総合センターのコミュニティ活動と宝く



じ普及のための補助事業で実

グラウンドに近接して建築された体育レク施設。

施。同センターの百九十万円の補助と町補助によって、合川町体育協会が建築したものです。

同施設では、一月二十三日体育協会関係者と地域の人たちが集まって竣工披露。今後、グラウンドを利用した体育活動や、地域の小集会などに活用されます。

ご参加ください

ろばた講座開講

一月二十一日、今年のろば

話している人たちが、若いボランティア希望者などが参加しました。

講師の野村康子先生（日赤秋田県支部）が、老人の心と体について説明。「明日の我が身」と考え、誠心誠意で」と語り、症例などを紹介しました。

職員をモデルにしたの実技指導では、床ずれ予防などを実習。「実際に教わることは少ないので、とても参考になった」との感想が聞かれました。

た講座の開講式が行われました。「働き盛りの世代」を中心に行われている講座の第一回目では「税制改正と消費税」について学び合いました。

消費税については、この四月からの導入を控えて、そのしくみを学習。「なかなか覚えられねえなんす」と言いながら、熱心にメモを取っている姿も見られました。

ろばた講座は▽二月四日

郷土の歴史に学ぶ ▽二月二十五日 ▽北欧の人々とくらし ▽三月十一日 ▽子育てを考える

町長日記から

「昭和」から「平成」へと時代がかわった。これを物理的に考えると、何の意味もないが、心理的に考えると、人さまざまな思いがあると思う。

今日は平成元年一月十八日。暖冬が続く、しのぎやすいと言う人が多い。子どもたちにとっては、スキーがやれないと残念がる。冬

ご活用ください 進学ローン

国民金融公庫（大館支店）
☎〇一八六―四一三（四〇七）

では、国の進学ローン（年金利五・七％）の融資申し込みを受け付け中です。高校、大学などに進学される方、または父兄の方が利用できますので、おたずねください。

なお、民間金融機関等にも進学ローンがありますので比較検討ください。

山利用の木材搬出も、雪降り待ちである。

テレビでは雪洞に野宿する子どもの体験が出ていた。眩（まぶ）しい雪景色は新鮮であり雪が大気を浄化して、これまた美味しい空気となる。

新年早々に上京して、咽喉（のど）をやられたことと比べてみる。誘致企業の関係者が町を訪れると、みんな合川は空気がよいと言われる。比較環境論に思いをかけると、無限の生理学が展開される。

（義）

ふるさと心はひとつ

首都圏阿仁川会で新年の集い

一月八日、首都圏阿仁川会の総会・懇親会が都内の会場で開かれました。阿仁川会は町出身

者が親睦のために交流しているも

ので、百人を超える会員が参加しました。

総会では和田吉次事務局長（上杉出身）が「郷土のきずなを深め、お互いに励まし合いましょう」と会の主旨などを紹介。工藤美代松会長（上杉出身）が「会員の協力とともに

にふるさとの発展のためにも尽力したい」とあいさつしました。

参加者は、年号が昭和から平成に改まった日の集いとなったため、ふるさとの思い出が、一層強く感じられた様子。林るり子さんらの歌や踊りなどは中止されましたが、なつかしい話や近況を紹介し合う会話がはずんでいました。

町からは、畠山町長、斉藤町議会議長らが参加。町の発展ぶりやリゾート構想などを紹介し「町出身者の皆さんと、一層深い交流を」とあいさつしました。

なつかしい顔ぶれに、これからも一層の強いきずなを求めて、阿仁川会の皆さん



会場では「お焼き」「あわ餅」など、町の物産を即売。

「ふるさとの味」を、もっと届けてほしい」との声も聞かれ、大変に喜ばれていました。

阿仁川会事務局は、文京区湯島三二〇―九日本私学育英共済事業団気付（☎〇三―八三六―一一九一）です。お気軽にご連絡ください。

ふるさとの味ありがとう

合川町ふるさと会の皆さんから

町では一昨年から『合川町ふるさと会員』を募り、年二回、ふるさと物産を直送しています。昨年末に送り届けたふるさと便に、多くの会員の方々から、おたよりが寄せられています。その中から一部（敬称略）

梅干しやおもち、味噌などみんなおいしそうなお物が。木戸石の実家からの送り物の

ような気分が致しました。さつそく賞味したいと思います。

東京都杉並区 佐藤 健成

第二回ふるさとの便りは去る二十二日午後七時半頃無事配達されました。

いろいろ沢山の詰合せで話に花が咲きおいしくいただきました。

北海道旭川市 沢藤 二郎

おいしいおもちを送って頂きましてありがとうございます。私共はお酒の大好きでした父がいけない静かな年明けを迎えました。

埼玉県川口市 山崎 峰正

どれを頂いても美味しいものばかりで小鯉はお煮付け料理に用いたいと思っております。

なんといいっても無添加、無着色が一番の魅力です。秋田こまちもとてもおいしく、こちら（百貨店）で購入して居ります。が全然味が違います。

秋田はいいですね。

京都府京都市 石部 勝久

私もふるさと会の送り物を沢山食べて楽しく毎日ゲート

ボールに励んで居るせいか風邪もひかず元気で暮して居ります。

神奈川県川崎市 木村 辰二

ふるさとの香がいつぱいつめこまれた箱をあける喜びは又ひとしおのものがございませう。近所の方へもおわけしてあげました。町の店に置いていないことがとても残念に思えます。ふるさと発展の為に、ももつとつと宣伝と販売網を広げていただきたいと思ひます。

東京都府中市 山谷 矩子

先日はお心のこもったたくさんのお品をありがとうございます。お陰様で嬉しいお正月になります。

埼玉県東松山市 山田さち子

ふるさとの香りがいっぱい。つまった送り物が昨日（二十一日）無事到着しました。滋賀の漆島家からもかすかすの品なつかしく丁戴いたし、心から御礼を申し上げて下さるようにとの電話が入りました。

大阪府岸和田市 金田 依子

看護婦を募集します

町診療所

町では次のとおり看護婦を募集します。

募集人員 若干名

応募資格 年齢35歳未満で、

正看護婦の資格を有する者

勤務場所 合川町国民健康保

険診療所

応募手続 合川町役場総務課

にある所定用紙に記入の上、

所定添付書類とともに郵送

または持参のこと。

申込締切日 2月15日(水)

選考期日及び場所 2月26日

(日)午前10時から、合川町役場。

休養休憩施設(大野台ハイランド)をご利用ください

懇親会や宿泊などに利用出来ます。職場や仲間などでどうぞ。申し込みは大野台ハイランドハウス(☎七八一三三五三)または役場農林課(七八一二一五)へ。

採用予定日 平成元年4月1日

試運転列車が走っています

秋田内陸線

今年4月1日からの全線開通に向けて、秋田内陸線では1月15日から、試運転が行なわれています。全線にわたって時刻表以外の列車が走っていますので、ご注意ください。

町のスキー教室

町スキークラブのスキー教室が次の日程で開かれます。

初心者から上級者まで、お気軽にとっぞ。

2月7・8・9日と14・15・

16日の6日間午後6時から米

内沢スキー場で

悪質商法にご用心

悩んでいるあなた

すぐお電話を

たくみな商法で、契約させる訪問販売の被害は、後がたちません。

特に、高齢者を狙った悪質商法は、増える一方です。

町では、みなさんの相談にのってくださる消費者モニタリがいます。

▽高橋裕津子さん(八幡岱・

☎七八一三〇七八)

▽三浦浩子さん(三木田・☎

七八一二一九六)

ひとり悩んでいるみなさん、

勇気をもってすぐ相談を

！

詳しくは役場商工観光課(☎

七八一二一五)か秋田県生

活センター(☎〇一八八—三

五—〇九九九)へどうぞ。

献血車来町

2月6日10時30分～11時30分

愛生園 12時～1時 営農

大学校 2時30分～3時10分

秋田ジーンズ縫製株 3時

20分～4時30分 村駒商会株

町の辞令

【任用】 一月一日付

三浦千景(北保育園保母)

【異動等】

一月一日付

保健課主査(同主任)木村知

剛 診療所主任(同中級歯科

衛生士)藤岡洋子 東保育園保

母(診療所主事補)伊藤千春

大野台地区は届出が必要

2,000平方メートル以上の取引きに

国土利用計画法で、一定面積以上の土地取引きは事前届出が必要です。当町は一万平方メートル以上が届出対象ですが、大野台地区の土地取引きは、二千平方メートル以上が対象になります。これは、大野台が県のリゾート構想の整備地域となっていることから、土地取引きの監視区域として指定されたことによるものです。

売買譲渡、交換、地上権

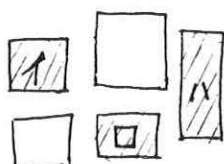
の設定など二千平方メートル以上の取引きは六週間前までに、

町に届出が必要です。(届

出をしないと、罰金などの

処分があります)

①二千㎡で届出が必要区域



あわせて、2,000㎡になる取引も届出が必要(イ+ロ+ハ)

木戸石深沢、才の神沢、堤の上、林岱、才の神岱、弥兵エ沢、下中岱、大堤の下木戸石川、八幡岱新田伊豆館、林岱、大谷地、川井大野下岱、大野上、大野下、大野中、沢口岱、羽立岱、女の岱、横谷沢、堂の沢、下谷地、狐沢、家の上、谷地、中谷地、上谷地、相善岱、蛇森、鳥屋岱、松石殿上杉金沢、赤坂、中山沢、日廻沢、造坂、下中岱、保戸岱、下森沢、上森沢、塚の岱、濁川、相染岱、長根下、硯川、下杉清水沢、上案三郎、案三郎、中島、大柳沢、大野堂ノ上、谷地道上清水沢、道城大野

②一万㎡で届出が必要区域

①以外の町内全域

(届出・おたずね先)役場総務課・☎七八一二〇〇〇

こよみ 2月

FEBRUARY

1	水
2	木
3	金
4	土 勤労者福祉研修施設竣工式 ろばた講座
5	日 米内沢スキー大会
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土 建国記念の日 阿仁部学童スキー大会 (阿仁町)
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金 秋田いりり塾 ニッ井町で (参加申込・合川町総務課へ)
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金 大喪の礼
25	土 ろばた講座
26	日 桃栄移動町民室
27	月
28	火

国民年金

大切に 税金の証明書

老齢基礎年金、老齢厚生年金、旧年金制度の老齢年金及び通算老齢年金の「源泉徴収票」が1月中に社会保険庁から送られています。(はがきになっています。)

この源泉徴収票は年金を受けている人の支払年金額と源泉徴収額(税額)が記入されていて、税金の申告(確定申告)の時に必要です。大切に保管しておいてください。



慶弔だより

(12月届)

〔お誕生おめでとうございます〕

米倉 麻南 上 杉 正 孝 二女
榎本 由貴 駅 前 真 治 長女
小笠原 紹仁 美 栄 弘 職 長男
坂上 裕太 上 杉 修一郎 二男
成田 賢吾 李 岱 賢 長男
佐藤 雄太 川 井 俊 光 長男
奈良あすみ 増 沢 明 弘 長女
斎藤 聖也 松ヶ丘 拓 洋 二男
谷内山愛子 美 栄 茂 和 長女

〔謹んでおくやみ申し上げます〕

高橋 吉雄 木戸石 本 人
杉 潤 イエ 増 沢 本 人
佐藤留五郎 駅 前 本 人
小野 忠三 木戸石 本 人
正田力一郎 上 杉 本 人
小林 好枝 道 城 文四郎 母
津幡 忠雄 道 城 本 人
福田 由蔵 鎌 沢 本 人
松橋 直治 三 里 本 人
米倉 カネ 上 杉 岩 男 祖母

善意のご寄付

(敬称略)

〔香典返しにかえて〕

成田一男 大館市泉町
(旧大内沢・故母トミエ)

わたしたちの町

人 口

男..... 4,387人
女..... 4,816人
計..... 9,203人
転 入..... 12人
転 出..... 10人
世帯数..... 2,303世帯
(12月末日住民登録人口調べ)

一納め忘れの保険料はありませんか
確めて、未納があったら、すぐに
納めましょう。経済的な理由などで
納めれないでいる人は、役場福祉課
に相談ください。

県町民税の申告相談が はじまりました

2月1日から、県町民税の申告相談が行われます。

各部落の巡回相談の日程にあわせて、提出書類などを準備しましょう。
各家庭に申告相談についてのチラシを配布していますので、お確かめください。

杉 潤 信雄 増 沢 (故母 イエ)
正田 秀雄 上 杉 (故父力一郎)
小野 憲一 木戸石 (故父 忠三)
小林文四郎 道 城 (故母 好枝)
福田 芳郎 鎌 沢 (故父 由蔵)
津幡 研造 道 城 (故父 忠雄)
松橋 勇夫 三 里 (故父 直治)
米倉 岩男 上 杉 (故祖母 カネ)
後藤 耕一 下 杉 (故母 トキ)
佐藤 秀蔵 東根田 (故三男 勉)
鈴木良之助 福 田 (故父福三郎)
〔一般寄付〕 町社会福祉協議会へ
落合 良子 (山形市)
金 三太郎 (駅前一部落委員長手当を全額ご寄付)

〔広報郵送料として〕一般寄付へ
三浦タヒ子 (栃木県小山町喜沢1221)

百歳記念にご寄付

昨年12月23日に 100歳になられた
長田兵助さん(東根田)が町社会福祉協議会と町ことぶきクラブ連合会にご寄付を寄せられました。「長寿をお祝いいただいた記念の意味でー」とのことです。ありがとうございます。